

## 令和 6 年度事業報告（令和 5 年 10 月 1 日～令和 6 年 9 月 30 日）

新型コロナウイルス感染症が昨年（令和 5 年）5 月に感染分類が 5 類になったことから、令和 6 年度は全ての連合会、支部において総会の開催等支部活動が通常の状態に戻った。  
また、今年度は令和 6 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震で甚大な被害のあった石川・富山・新潟 3 県の会員に対し被災状況の調査を実施し、被災された会員に見舞金を贈呈した。

令和 6 年度事業につきまして次のとおり報告いたします。

### 〈本年度事業〉

#### 1. 青々会ネットワークの取組み

コロナ禍で中止していたビジネスネットワークの集いを令和 6 年 9 月 27 日（金）渋谷エクセルホテル東急において開催した。  
5 年振りの開催であったが 80 名の参加があり盛会裡に終了した。  
なお、就職支援イベントの開催及び若手会員のネットワーク構築については関係部署と次年度実施に向けて協議した。

#### 2. ホームページの充実

青々会の重要事項及び青々会本部、各支部及び大学の情報の迅速に配信した。  
また、「卒業生のネットワークを強化しましょう」の呼びかけカードを作成し昨年同様令和 5 年度卒業生 1,423 名に配付した。  
将来の総会案内のあり方を検討するにあたり試験的にアジア青々会ネットに本部から連合会、支部総会の案内を発送すると同時に当該ネットにも掲出し、出欠報告も受け付ける機能を設けた。  
ホームページのアクセス数：月平均 739 件（会報発行の 6 月は 958 件）  
アジアネットのアクセス数：月平均 288 件

#### 3. 会報発行（会則第 5 条第 1 号関係事業）

「青々会報」の発行：令和 6 年 6 月 10 日に第 120 号を発行した。  
発行部数：63,554 件（国内 62,288 件・海外 1,266 件）

#### 4. 定例協議員会の開催（会則第 19 条関係事業）

令和 6 年度定例協議員会を令和 5 年 11 月 3 日（祝）午後 1 時から亜細亜大学 5 号館 521 教室において開催し、第 1 号議案令和 5 年度事業・決算報告、第 2 号議案令和 6 年度事業計画（案）・予算（案）について審議し、原案通り承認された。出席者 64 名。

#### 5. 幹事会の開催（会則第 22 条関係事業）

令和 5 年 11 月 3 日に令和 6 年度第 1 回幹事会、出席者 45 名。令和 6 年 3 月 22 日第 2 回幹事会、出席者 34 名。同年 6 月 28 日第 3 回幹事会。出席者 31 名。同年 9 月 20 日

第4回幹事会事会、出席者26名。以上青々会館会議室で開催した。

6. 会議・会合の開催(会則第5条第2号関係事業)

1) 三役会の開催

令和5年11月3日・令和6年3月22日・5月14日・6月28日・8月23日・9月20日の6回開催し、事業の進捗状況の確認及び意見交換を行った。

2) 大学首脳陣とのコミュニケーションの促進

事務局長と学長及び学園幹部と情報交換を行った。

7. 興亜神社例祭の挙行

令和5年11月3日(祝):午後3時から、母校キャンパス内に建立されている興亜神社において、大学と共催で戦没校友の御霊を祀る興亜神社の例祭を挙行した。

8. 第30回「ホームカミング・デイ」の開催

令和5年11月3日(祝)午後4時かASIA PLAZA4階ホールにおいて4年振りに開催した。2,000円の会費制で235名の参加があった。

9. 「新春の集い」の開催

令和6年1月26日(金) 午後6時から、これまでの母校ASIA PLAZAから再度吉祥寺東急REIホテルに会場を変更し、平成元年度卒及び平成16年度卒の担当幹事で4年振りに開催した。

母校から学長、副学長はじめ学園幹部の方々及び在学生の学友会執行部、青々会奨学金受給者にも参加をいただき総勢124名での開催であった。

10. 連合会・支部活動への協力(会則5条第5号関係事業)

1) 連合会・支部総会開催への協力

①本年度は14連合会、61支部で総会が開催された。(案内通知約6万通の発送)

②連合会総会には、大学及び青々会からお祝金の贈呈、本部より会長もしくは副会長等役員が出席し、大学からは学長又は副学長及び幹部職員の出席があり、参加会員との交流を図った。

③支部総会には、青々会からのお祝金の贈呈、本部より三役が出席して青々会並びに大学の近況報告を行い支部出席会員との交流を図った。

2) 海外支部活動の協力

今年度は、台湾連合会(令和5年10月)、マレーシア支部(令和6年6月)が開催した。

大学からの参加者に本部より御祝金の贈呈をお願いした。

11. 在学生活動の支援

1) 青々会奨学金

大学から推薦の学生27名に授与

今年度も授与式は中止、当該学生には7月末日に大学より指定口座に振込。

2) 在学生諸活動の援助

学友会、体育会関係の合宿等の援助、6件(410千円)

3) 青々会賞の授与

※個人への授与は4名

◎硬式野球部2名 草加 勝(経営4年)、天井 一輝(経営4年)

◎アジア女子ローンテニス部1名 山崎 郁美(法4年)

◎サッカー部1名 瀧澤 諒斗(法4年)

※団体の授与は1クラブ

◎アジア女子ローンテニス部

12. 組織活性化

1) 連合会・支部総会活性化支援

昨年5月以降から支部活動が再開され、特に今年度からは全ての連合会、支部が総会の開催が計画されたので総会案内状作成、印刷及び発送の支援を実施。

2) 会員名簿に関する取組み

青々会に関する情報発信のため各支部からの要請により支部会員名簿を配付した。

3) 連合会長・支部長会議

令和6年度連合会長・支部長会議を11月3日(祝)4年振りに開催し、新連合会長、新支部長の紹介後、ホームページ運営・管理会社のYour Color㈱の松本社長によるアジアネットに関する説明、その後の質疑応答で理解を深めた。

4) 活性化に貢献した支部及び個人の表彰

今年度の表彰は取りやめとした。

コロナ禍の影響もなくなり全支部の活動が再開されたので次年度以降活性化賞の基準に則り受賞者選考を行う。

13. 在校生応援活動

1) 硬式野球部応援活動 東都大学野球春・秋リーグの応援

2) 陸上競技部応援活動 箱根駅伝予選会応援

3) 女子陸上競技部 全日本女子駅伝、富士山駅伝の応援

14. 会員自主活動の協力(会則第5条第4号関係事業)

1) 会員及び支部からの問合せ・相談等の対応

問合せ件数は月10~15件

2) クラブOB会、ゼミOB会、寮関係OB会名簿及び宛名シール作成対応

15. 事務局関係(会則第5条第4号関係事業)

1) 情報収集

今年度も地方支部状況及び大学の対応等情報収集を図り、役員及び会員からの問

合せ対応をした。

本部、大学の情報についてホームページへの迅速な発信をした。

2) 会員データ管理

①過去データの修正及び令和5年度卒業生1,423名の住所、就職先及びクラブ、ゼミコード等のデータ入力業務の実施。

②会報、総会案内送付後に戻ってきた宛名不明者約1,900件の追跡調査を実施し、正確な会員情報の把握に努めた。

3) 事業実施に伴う経費の有効活用

4) 幹事会、協議員会及び三役会の会議資料作成、会場準備の実施。

5) 個人情報保護法に則り、会員情報の取扱いを行った。

以上